

2019年度 オンライン日本語教師セミナー<1> —ポートフォリオ—

2019年8月31日

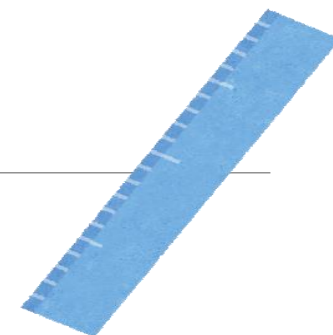
国際交流基金モスクワ日本文化センター

本日の流れ

ひょうか がいよう
1. 評価について(概要): 黒岩 幸子

2. ポートフォリオ: Ксения Артюхина

しつぎ おうとう
3. 質疑応答



測る(はかる)



ひょうか

がいよう

1. 評価について(概要)

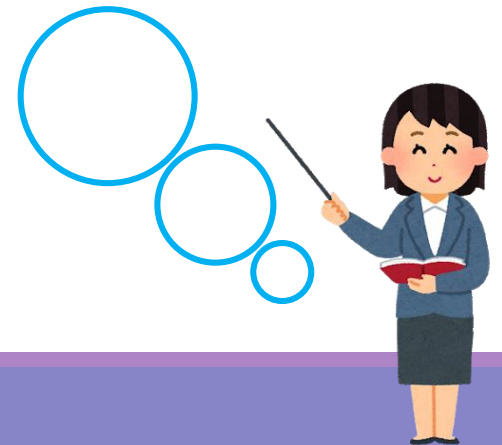


『国際交流基金日本語教授法シリーズ12
学習を評価する』

(あなたは日本語の授業で)

ひょうか
どんな評価をしていますか。

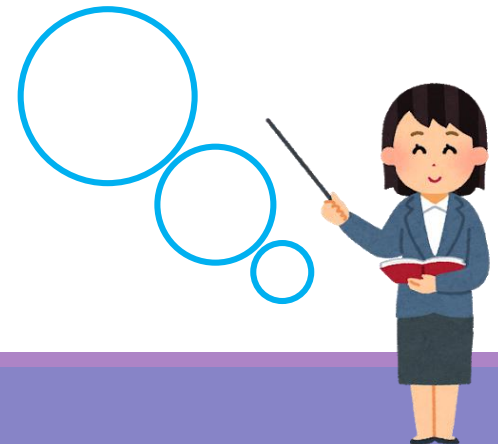
ひょうか
どのように評価していますか。



それぞれいい点があると思います。
あなたはなぜその方法を使っていますか。

こうか はか

その意味や効果、測れる能力を考えたことがありますか？



学習の評価はだれが だれのために 行うものですか。

次の人にとって、評価がなぜ必要か考えてください。

A: 教師

B: 学習者 しゅうい

C: 学習者の周囲の人々

じょうし かんけいしゃ
(両親、会社の上司、学校関係者など)



「この学生は5！」
どうやって決めますか？

評価のためにどんな材料がありますか。



「この学生は5！」
どうやって決めますか？

評価のためにどんな材料がありますか。

- ・テスト
- ・学習者の観察(かんさつ)
- ・提出物(ていしゅつぶつ)
- ・自己評価チェックリスト(じこひょうかcheck list)
- ・**ポートフォリオ**
- ・ジャーナル(journal日記、日誌)
- ・調査票(ちょうさひょう)
- ・学習者との面談(めんだん)

